

△おなか 便り 人生100年

高齢者をセンチナリアンと称し、再生医療で死なせないことも可能となる。幾歳まで生かされ果たして自立して生活できるのだろうか。90代でピンピンコロリと地で逝った友人があった。家人はショックであつたろうが、私もその様でありたいと願う。あと20年どのように過ごせばよいのか思案が立たぬ。

(名華女)

人生100年、長過ぎる老後にどう備えて生きていけば良いのでしょうか。今や男性の半数が84才、女性の半数が90才まで生きる時代とか。健康で経済的に心配なければ良いのですが。福祉の充実が追いついていない現状、老後の不安はつきません。

(Gファン)

「十人十色」とは良く言い表している。生き様もそれぞれにある。せっかくならば反りの合う人との付き合いだけでは勿体ない。価値観の違いを楽しんで生きて行けば人生の長さに加え幅も広がるに違いない。額のシワとともに欲も深くなった私は、貪欲にそれを楽しんで100年生きようと思つてみる。

(すみちゃん)

100才まで生きるなんて他人ごとだったわ。寿命が延びてそつなつたらどうしよう。既に老化を感じるようになったし、経済的にも不安だ。ドキドキな日々でなく、楽しいことにワクワクして歩きたい。一緒に泣いて笑いあえる友人。長さはそれがついてほしい。

(こぼ)

△ハモン博士のまとめ

人生100年の時代、いくつになっても学び直しができ、新しいことにチャレンジできる社会が、国の目指す人生100年時代を見据えた経済社会の在り方だそうじゃ。生きていれば、誰もが昨日より今日の方が年を重ねていく。人生の先を考えるとき、憂うのではなく、少しでも有意義に過ごしたいもんじゃない。



問合せ

おおくち男女共同参画懇話会(地域振興課)
☎95-1691

10代の頃にイメージした40歳のおっさんと思うと、自分を含め周りの同年代は若い。他の年代も昔のイメージより元気がよい。自分の勝手な思い込みか、それとも寿命が延びた影響か。生きた年数より残りの年数が老け方が決まるのかも。

(俺)

10年くらい前、「人生折り返しだ」と思った。しかし、人生100年の計算ならまだやっとな折り返しを少し過ぎただけになる、先は長い…。老いていく自分を想像したくはないが、幸いステキな手本が身近にある。輝くおばあちゃんを目指して、先ずは輝くおばあさんとしての地位を確立しなければ。

(チャーミー)



No.29



Be Ambitious vol.285

町内にお住まいの
20代の皆さんがリレーで登場!

家族の影響を受けて

村上 志坂さん(余野) H8・11・20生



栄養学の勉強をしています

管理栄養学科の4年生です。

小学生の頃、作ったお菓子を母が美味しいと言ってくれたのが嬉しくて、パティシエになる夢を描いていました。中学生の時に父が病気になる、栄養面で病気のサポートをできたらと考えた事がきっかけでこの道へ進みました。

3年間学んできて、長年の食生活を変えるのはなかなか難しいという事がわかり、食育の大切さを実感しています。これから卒業研究も始まり、愛知県が実施している『あいち健康チャレンジ』という活動をとおして、アンケート調査を実施し、愛知県の野菜の摂取量の低さの原因や改善方法などを探っていきたいと考えています。

スポーツ観戦が大好き!
年の離れた兄の影響で趣味はスポーツ観戦です。

幼い頃からサッカースタジアムの観戦に連れて行ってもらっていました。スタジアムでは、知らない人同士でも同じチームを応援する仲間。応援歌を歌ったり、点数が入った時にハイタッチしたりと、一体感がたまらないです。先日は豊田市までグランパスの選手の公開練習を見に行き、憧れの選手を間近で見ることができて感激でした。

そのほかにも、野球、バスケット、バレーなどさまざまなスポーツの地元チームを応援するため友人と足を運んでいます。家では父や兄とテレビ観戦で盛り上がっています!



▲大学の実験にて